

現場作業者の能力格差時代に対応する

# QC工程表&作業標準書のつくり方と 品質不良の未然防止活動・人材育成法

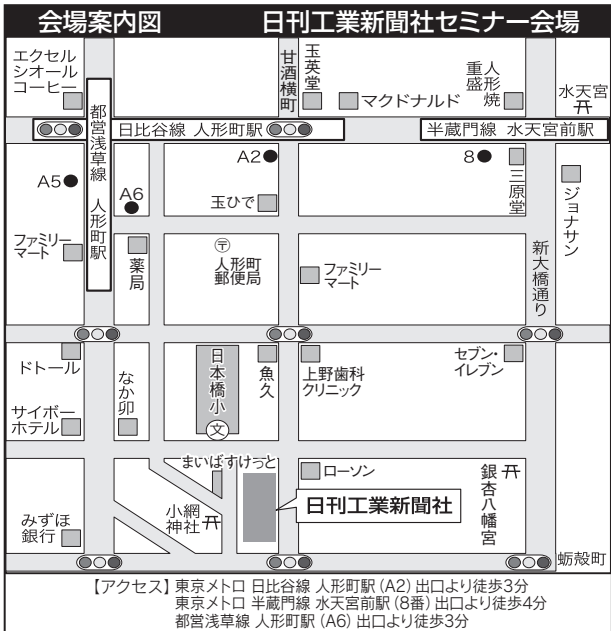
—演習で基礎力と応用力を培い、新たな現場の創造・顧客満足と付加価値の向上につなげる!

**日時** 2019年 **11**月 **14**日(木) 10:00~17:00  
(9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

**主催**  日刊工業新聞社

**会場** 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム  
東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

**受講料** **44,000円** (資料含む、消費税込)  
\*同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円



## 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

### 【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分

東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

### ●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

| 口座名義      | りそな銀行   | 東京営業部 | 当座 | 656007  |
|-----------|---------|-------|----|---------|
| 株)日刊工業新聞社 | 三井住友銀行  | 神田支店  | 当座 | 1023771 |
|           | みずほ銀行   | 九段支店  | 当座 | 21049   |
|           | 三菱UFJ銀行 | 神保町支店 | 当座 | 9000445 |

### ●申込先 日刊工業新聞社 総合事務局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)  
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215  
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講  
申込書

11/14 QC工程表

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

●受講料：44,000円 (資料含む、消費税込) \*同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

|     |          |   |  |
|-----|----------|---|--|
| 会社名 | フリガナ     | 業種  |  |
| 氏名  | フリガナ     | TEL   |  |
|     | 部署・役職    | FAX   |  |
| 所在地 | 〒        |   |  |
|     | E-mail : | ※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は<br>チェックをしてください。 <input type="checkbox"/> |  |

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.190406

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

# 開催主旨

2000年代以降、現場作業者の高齢化や新人社員、非正規社員の急激な増加に伴い、現場作業者の能力格差が拡大しています。そして、作業標準書を作成して作業者を育成し、かつQC工程表を作成して生産ラインの管理レベルを維持・向上する取り組みがなされています。ところが、このような変化に対応するQC工程表や作業標準書になっていないばかりに製品の出来栄がばらつき、品質不良を発生する例が後を絶ちません。多様な労働環境を前提とした、新たな生産現場づくりにつながるQC工程表および作業標準書の導入が必須であり、そのための考え方や活用方法の見直しが求められています。

本講座は、前段に品質保証および工程管理の仕組みづくりの考え方を整理し、QC工程表および作業標準書を活用するための生産組織と管理者・監督者のあるべき姿を解説。それを踏まえ後段では、新たな現場ニーズに対応するこれらの作成方法や、これらを用いた品質不良の未然防止活動、さらには人材育成およびスキル継承の進め方を、演習などを通じて解説します。

QC工程表と作業標準書の今後のあり方と新たな可能性を見出せる構成としています。

## 講師

くらたマネジメント研究所 所長 倉田 義信 氏

**【略歴】** 日本電装(現デンソー)に技術職として入社し、品質保証、新製品立上げ、仕入先指導、検査、生産部門などあらゆるモノづくりプロセスに携わる。自動車走行安全関連製品の元工場長。品質向上と人材育成を柱にモノづくり革新に取り組み、事業の黒字化に貢献。その後、同社研修センターに移籍。講師としてグループ企業の管理・監督者研修、なぜなぜ分析など数多くの研修を通じて“人づくり”に関わる支援活動を展開する。現在、「くらたマネジメント研究所」を設立。品質保証・現場改善・人材育成の経験を活かし、各企業の人材育成に携わるほか、現場改善コンサルタントとして活躍中。  
“モノづくりは、人づくり”、“働く仲間との信頼関係を築くコミュニケーションが原点”を信条とする。また、図解を用いた解説により理解が進み、“笑顔あり、笑いあり”のユニークな気づき研修を特徴とし、数多くの受講生から慕われる。著書に、「デンソーから学んだ本当の「なぜなぜ分析」」(日刊工業新聞社)がある。

## プログラム

### 1. 不良を出さない品質保証体制 (TQMの基礎)

#### 1-1 工程管理の基礎

①生産の4Mと製品の三要素／②工場のモノづくりの課題／③工程管理／④工程管理のマネジメント手法

#### 1-2 現場の品質保証の考え方

①品質管理の基本／②顧客満足度とは  
③TQM活動の位置づけ

#### 1-3 工程管理の仕組みづくりの考え方

①FMEA／②QAマトリックス  
③QC工程表／④統計的工程管理(SPC)

### 2. 「QC工程表」の理解

#### 2-1 QC工程表の基本的構成

①QC工程表とは／②QC工程表の目的  
③QC工程表vs作業標準書

#### 2-2 QC工程表記載項目の見方

①QC工程表の基本構成  
②QC工程表のフォーム

#### 2-3 QC工程表の活用

### 3. 「QC工程表」の作成

#### 3-1 QC工程表の作成の手順

①QC工程表の作成の考え方  
②QC工程表の作成手順

#### 3-2 工程フローチャートと工程記号、重要ランク表

#### 3-3 品質特性と管理特性の考え方

①品質特性と管理特性／②管理方法  
③部品製造工程の分析ステップ  
④組立工程の分析／⑤工程保証の定義

### 4. QC工程表作成に必要な基礎知識

#### 4-1 QAマトリックスによる未然防止の検証

①予防型品質保証の概念  
②QAマトリックスとは  
③QAマトリックスシート

#### 4-2 作業要領書作成とその運用

①作業分解シートの必要性  
②作業要領書の作成  
③作業分解シートと作業要領書の違い  
④作業要領書の書き方

#### 4-3 効果的な仕事の教え方

①指導するとは？／②教え方の4段階  
③教え方のチェックシート

### 5. 演習:QC工程表を作成

※演習課題のQC工程表・作業要領書を作成

### 6. 質疑応答&個別相談

※内容が変更になる場合もございます。